

2002年 フィラデルフィア・日本 健康科学ダイアローグ

日米両国における OTC 市場での現状と課題

2002年2月14日(木)

ロウズ・フィラデルフィア・ホテル

午前 8:00

レジストレーション、朝食

午前 8:30 午後 5:00

プログラム(昼食を含む)

午後 5:15 午後 6:00

カクテル・レセプション

* 同時通訳付き

基調演説: 上原 明 大正製薬社長 / 世界大衆薬協会(WSMI)理事長

プログラム:

日米におけるRx(処方箋薬)とOTC(大衆薬)市場のトレンド

<司会> キャサリン・ソーン / グラクソスミスクライン 国際事業開発部 副社長

・ 日米両国の市場概要: トレンド、共通点と相違点

<スピーカー> ビル・マックタイガー / Rx・フォー・ストラテジー チーフ・コンサルタント

・ 事例研究: 米国における日本製品マーケット

<スピーカー> 松野 聡一 / エーザイ会長

RxからのOTCスイッチ

<司会> ジョン・ウォッシュリック / モーガン・ルイス・アンド・バッキアス 弁護士

・ 傾向と今後の見通し: 日本における Rx からの OTC スイッチ

<スピーカー> 中村 裕一郎 / 日本厚生労働省 医政局 経済課長補佐

・ 傾向と今後の見通し: アメリカにおける Rx からの OTC スイッチ

<スピーカー> リンダ・キャッツ / 米国食品医薬品局(FDA) OTC 製品部 副部長

・ 事例研究: 米国における禁煙から生じる公衆健康利益

<スピーカー> ジョージ・カネール / グラクソスミスクライン コンシューマー・ヘルスケア インターナショナル イスタブリッシュ マーケット 社長

消費者への広告・宣伝

<司会> ロジャー・ロス / トリニティー・コミュニケーションズ 代表取締役

・ 米国内における薬品に関する消費者向け(DTC)広告: 事例研究と今後の見通し

<スピーカー> ボブ・バーラス / グレイ・ワールド 副社長

・ 日本における OTC の広告: 事例研究と今後の見通し

<スピーカー> 有賀 勝 / 電通 マーケティング・プロモーション局 主管

2002年、そしてそれ以降の見通し “今後どこへ向かうのか?”

<司会> ジェイムズ・フォリー / グラクソスミスクライン 日本・アジア事業開発部 副社長

・ 米国内のビジネスにおけるヘルスケアの改善と政治的関連

<スピーカー> ウィリアム・ファレル / ダイナミック・ストラテジーズ・アジア 社長

・ 2002年、そしてそれ以降の見通し

<スピーカー> 荒木 謙 / 野村證券(USA) エクイティ・リサーチ部 部長

・ 2002年、そしてそれ以降の見通し

<スピーカー> メアリー・タナー / ベアー・スターンズ シニア・マネージング・ディレクター

協賛団体: グラクソスミスクライン、ロート・メンソレータム

IMSヘルス、沖データ・アメリカ、コンシューマー・ヘルスケア・プロダクツ・アソシエーション(CHPA)、スバル・オブ・アメリカ、三菱ふそうトラック、ホワイトホール・ロビンズ

協力団体: ジェトロ(日本貿易振興会)、モーガン・ルイス・アンド・バッキアス

「フィラデルフィア・日本 健康科学ダイアローグ」とは・・・2000年3月に第一回が行なわれたこのセミナーは、日米両国のヘルスケア業界関係者、政府関係者、及び学術研究者を招き活発な意見交換をすることで、両国に存在するヘルスケアの問題点、また可能性について意識を高めることを目的とし年1回開催されています。トーマス・ジェファーソン大学で開かれた第一回目の会議では、日本のヘルスケア環境の変化とその変化が日米両国の企業に与えた影響について焦点が当てられ、第二回目ではセント・ジョセフ大学に会場を移し、e-ヘルス、日米両国のヘルスケア管理におけるITの利用法について話し合いました。